

公認スポーツ指導者制度の改定に係る説明事項

● 共通事項

○ 指導者制度改定

➤ 公認スポーツ指導者育成の基本コンセプト

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ文化を豊かに享受するというすべての人々がもつ基本的な権利を保障するため、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を公認スポーツ指導者として育成し、望ましい社会の実現に貢献する。

➤ 公認スポーツ指導者とは

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタード*の考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者である。

*プレーヤーを取り巻くアントラージュ自身も、それぞれのWell-being(良好・幸福な状態)を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方。

➤ 公認スポーツ指導者が目指すグッドコーチ像

人物像	キーワード
スポーツを愛し、その意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる人	人が好き、スポーツが好き、スポーツの意義と価値の理解
グッドプレーヤーを育成することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることができる人	プレーヤーやスポーツの未来に責任を持つ
プレーヤーの自立やパフォーマンスの向上を支援するために、常に自身を振り返りながら学び続けることができる人	課題発見・課題解決、自立支援、プレーヤーのニーズ充足、卓越した専門知識(スポーツ教養含)、内省、継続した自己研鑽
いかなる状況においても、前向きかつ直向きに取り組みながら、プレーヤーと共に成長することができる人	逆境・困難に打ち克つ力、ポジティブシンキング、真摯さ、継続性、同情・共感、対象に合わせたコーチング
プレーヤーの生涯を通じた人間的成長を長期的視点で支援することができる人	プレーヤーズセンタード、プレーヤーのキャリア形成・人間的成長、中長期的視点
いかなる暴力やハラスメントも行使・容認せず、プレーヤーの権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる人	暴力・ハラスメント根絶、相互尊敬(リスク)、公平・公正さ
プレーヤーが、社会の一員であることを自覚し、模範となる態度・行動をとれるよう導くことができる人	社会の中の自己認識、社会規範・モラルの理解・遵守、暴力・ハラスメント根絶意識のプレーヤーへの伝達
プレーヤーやプレーヤーを支援する関係者(アントラージュ)が、お互いに感謝・信頼し合い、かつ協力・協働・協調できる環境をつくることができる人	社会との関係・環境構築、チームプレー、感謝・信頼、協力・協働・協調

▶ 公認スポーツ指導者育成の3つの方針（3ポリシー）

◆資格認定方針（ディプロマ・ポリシー）

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、公認スポーツ指導者育成の基本コンセプトに基づき、養成講習会の受講等により所定のカリキュラムを修了し、以下の資質能力（思考・判断、態度・行動、知識・技能）を身に付けた者を、公認スポーツ指導者として認定する。

- ・ スポーツの価値や未来への責任を理解することができる。
- ・ プレーヤーズセンタードの考え方のもとに、暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除できる。
- ・ 常に学び続けることができる。
- ・ プレーヤーの成長を支援することを通じて、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる。
- ・ 求められる役割に応じて、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導することができる。
- ・ 求められる役割に応じて、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる。

◆養成講習会実施方針（カリキュラム・ポリシー）

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ指導者に資格認定方針に掲げる公認スポーツ指導者として必要な資質能力（思考・判断、態度・行動、知識・技能）を修得させるため、すべてのスポーツ指導者に共通して求められる資質能力に関する科目と、役割に応じて求められる専門的な資質能力に関する科目を体系的に編成し、養成講習会を実施する。

◆受講者受入方針（アドミッション・ポリシー）

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、公認スポーツ指導者育成の基本コンセプトに賛同する者で、養成講習会を通じて、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードのもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通じて、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献する意欲がある者を、養成講習会の受講者として広く受け入れる。

▶ 競技別指導者資格の名称変更／スタートコーチの新設

上級コーチ	→	コーチ 4	公認スポーツ指導者制度改定のキーワードのひとつである「学び続ける」環境を提供し、学びのステップアップを促進する趣旨から、左記のとおり変更。
コーチ	→	コーチ 3	
上級指導員	→	コーチ 2	
指導員	→	コーチ 1	
スタートコーチ			上位資格者と協力し安全で効果的な活動を提供するコーチングアシスタント（指導補助）。スポーツの意義と価値、指導者の倫理観、安全管理等を中心に1日の集合講習で取得可能。

※ 国民体育大会の監督に義務付けている内容の変更については、日本スポーツ協会国体課に確認・調整をお願いいたします。

▶ **新資格（スポーツ指導者基礎資格、名称未定）の創設（2020年度）**

基礎的なスポーツ指導や運営にあたる指導者に対し、定期的に学習の機会を提供するため、スポーツ指導者基礎資格であるスポーツリーダー（永年認定）に代わり、登録更新制（4年間）資格（名称は2019年6月決定予定）を創設します。2020年度から養成講習会を開始し、併せてスポーツリーダーからの移行を受け付けます。

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
通信講習	スポーツリーダー	秋期(申込:8-10月、受講:11-1月、成績:4月)まで								
	更新制新資格 (名称検討中)		【案1】春期(申込:2-4月、受講:5-7月、成績:10月)から開始		【案2】夏期(申込:5-7月、受講:8-10月、成績:1月)から開始		【案3】通年			
	更新制新資格 (名称検討中)									
集合講習・ 適応コース	スポーツリーダー	2022年度まで※1								
	更新制新資格 (名称検討中)				2020年度から					
移行期間※2 (2020年10月認定～)				(原則として)2023年度まで						

※1 スポーツ少年団認定員養成講習会は2019年度で終了予定。2020年度以降は2018年度までに開催実績を有する団体のみを対象とする。
 ※2 現行スポーツリーダーが希望により更新制新資格に移行する期間

▶ **登録証の発行**

競技別指導者資格の名称変更に伴う新たな資格名称での登録証の発行は、それぞれの登録・更新登録手続きに合わせて順次、対応します（2019年4月に全登録指導者の登録証を切り替えることはいたしません）。

▶ **既に資格をお持ちの方に対する制度改定のコンセプトの浸透**

指導者制度改定に伴う移行講習会は実施しませんが、資格の更新研修に、新共通科目カリキュラムの一部内容や、アクティブラーニング形式を導入するなど、資格保有者にも資質能力を高めていただく機会を確保していきます。

▶ **養成講習会関係**

◇ **共通科目関係**

- ・ 受講形態の変更（事前学習→集合講習会→事後学習・実践→評価）



- ・ 共通科目集合講習会講師（コーチデベロッパー（コーチ育成者））
 - ⇒ コーチ2（共通科目Ⅱ）養成講習会は、当協会から配布するコーチデベロッパーのリストをもとに、開催都道府県にて調整ください。
 - ⇒ 2019 年度もコーチデベロッパー養成講習会を開催いたします。受講者の推薦についてご協力をお願いいたします。

- ・ リファレンスブック（テキスト）

⇒ これまでのテキストと呼んでいたものを、今後は、自らのコーチングを考えたり、何か分からないことがあった場合に常に立ち戻れるものという願いを込めて、リファレンスブックと呼びます。

今後は、受講料と別に、以下のとおりリファレンスブック代として代金を徴収させていただく予定です。

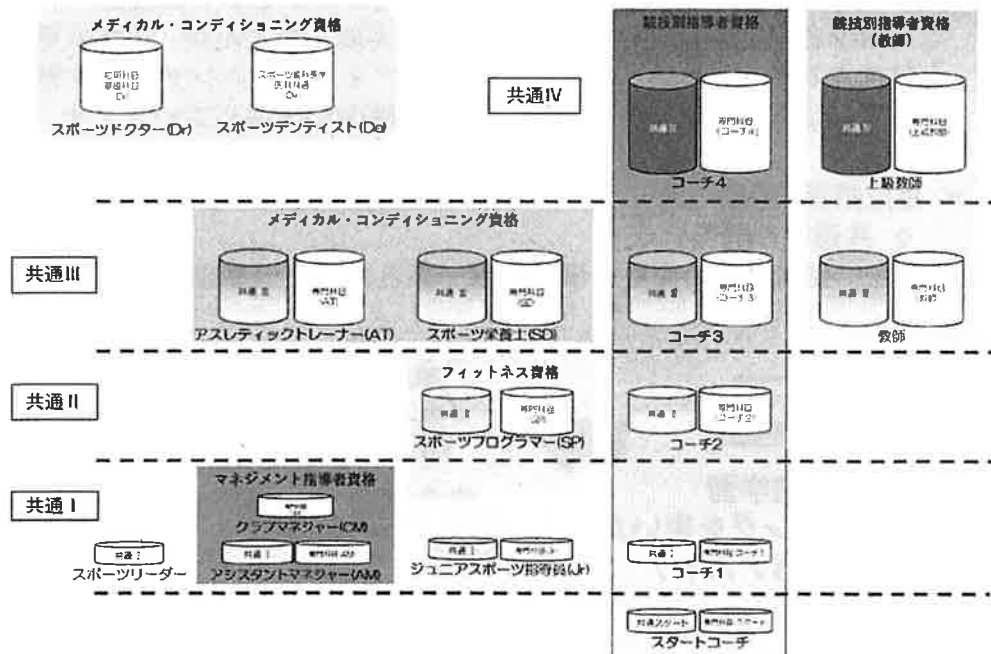
- フルバージョン用（共通科目Ⅱ以上） 3,000 円（税別）
- 共通科目Ⅰ用 1,500 円（税別）
- スタートコーチ用 未定

- ・ 免除要件

- ⇒ 保健体育の教員免許状による免除は、おこないません。
- ⇒ 大学等における免除適応コースの修了証明書、他の資格を取得した際に発行される共通科目修了証明書による免除はおこないません。
- ⇒ 保有資格に基づく部分的な免除は、おこないません。

例)

現在保有している資格 (受講済みの共通科目)	2019 年度以降に取得する資格 (共通科目免除内容)		
	コーチ 1	コーチ 2	コーチ 3
指導員 (共通科目Ⅰ)	共通Ⅰ免除	免除なし	免除なし
上級指導員 (共通科目Ⅰ+Ⅱ)	共通Ⅰ免除	共通Ⅱ免除	免除なし
ジュニアスポーツ指導員 (共通科目Ⅰ)	共通Ⅰ免除	免除なし	免除なし



・ 受講料

⇒ 上記のとおり講習受講形態の変更に伴い、共通科目の受講料を以下のとおり改訂いたしました。

科目	資格名	現行		改定後		
		税抜	税率 8%	税抜	税率 8%	税率 10%
共通科目Ⅱ	コーチ 2	14,000	15,120	16,000	17,280	17,600
	スポーツプログラマー	20,000	21,600	16,000	17,280	17,600
共通科目Ⅲ	コーチ 3	18,000	19,440	20,000	21,600	22,000
	アスレティックトレーナー					
	スポーツ栄養士	54,000	58,320	56,000	60,480	61,600
	教師					
共通科目Ⅳ	コーチ 4	26,000	28,080	28,000	30,240	30,800
	上級教師	54,000	58,320	56,000	60,480	61,600

※ 共通科目Ⅰ（通信講座）は、未定（2020年度から改訂予定）。

※ 新資格（スポーツ指導者基礎資格 名称未定）は、未定（2019年度中に決定）。

◇ 2018年度末時点の未修了者（過年度者）の扱い

～2018年度		→	2019年度～	
集合講習会	検定試験		講習会	検定試験
未受講	—	→ 選 択 可 能 →	新カリキュラム	
部分受講済	—		未受講部分の 課題提出	旧カリキュラム
			新カリキュラム ※希望者、免除なし	
受講済	未合格	→	—	旧カリキュラム

○ 登録規程改定（2018年度中に改定予定）

- 内容の整理（文言の整理、登録規程細則の統合など）
- 受講修了者による反倫理的行為等への対応

現行の登録規程等に定めている内容では、公認スポーツ指導者が反倫理的な行為を行った場合は対応できますが、受講者や受講修了者（未登録者）が当該行為を行った場合の対応が明確になっていないため、対応できるようにする予定です。

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会
 共通科目Ⅲ集合講習会
 日程(案)



	1日目	2日目	3日目	4日目	
9:00					9:00
9:10		場作り(導入) 【10分】	場作り(導入) 【10分】	場作り(導入) 【10分】	9:10
10:00		コーチング環境を整えよう	効果的な計画を立ててみよう	様々なコーチング文脈について 考えてみよう	
10:30	受付 オリエンテーション	【80分】	【80分】	【80分】	10:30
11:00	場作り (導入) 【30分】				
	日本スポーツ協会が推進する スポーツとは? その中で求められる公認 スポーツ指導者の役割とは?	人のつながりを最適化しよう	試合でベストパフォーマンスを 出すための準備をしよう	コーチの資質能力を まとめてみよう	
12:00	【60分】	【90分】	【90分】	【90分】	12:00
13:00	昼食	昼食	昼食	昼食	13:00
14:00	コーチングの課題を整理しよう 【60分】	対人関係の問題解決法について 考えてみよう	アウトカムが明確な練習作りと 評価をしてみよう 【90分】	コーチ自身の幸福について 考えてみよう 【60分】	14:00
14:30				コーチ自身の成長の計画を 立ててみよう 【60分】	14:30
15:00	プレーヤーズセンターードな コーチングを実践しよう 【120分】	【120分】	スキル向上に焦点をあてた 練習を組み立ててみよう 【90分】	コーチング実践ポートフォリオ をまとめよう 【50分】	15:00
16:00		スポーツ医・科学を活用しよう		クロージング 【10分】	16:00
17:30	コーチングにおける 倫理的判断力を高めよう 【90分】	【150分】	コーチングセッションの 運営力を高めよう 【90分】		17:30
18:00	事故の予防と対処法について 考えよう 【90分】	2日目の振り返り 【30分】	3日目の振り返り 【30分】		18:00
19:00	1日目の振り返り 【30分】				
19:30	計480分 8時間	計480分 8時間	計480分 8時間	計360分 6時間	

計1,800分
30時間